

地域での活動

チームパパ(幼稚園おやじの会)

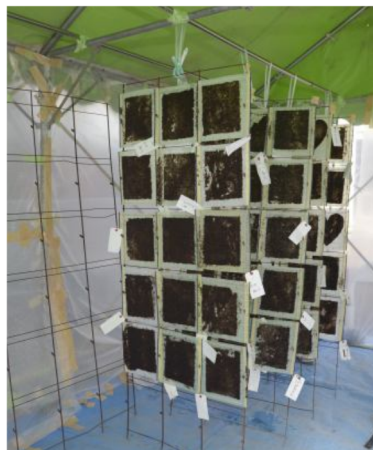
1月26日(日)、チームパパ(幼稚園おやじの会)の一員として、海苔づくりイベントに参加しました。当日は、作った海苔が乾くまで、子供達に遊んでもらうための「段ボール迷路」での見守り役を担当。迷路の途中に現れる「風船プール」に入れる風船を、ひたすら作っていました。



段ボール迷路



風船プール



乾燥中の海苔

長男が幼稚園に入園して以来**8年間、チームパパの活動に参加**してきましたが、「**多様な人材が集まれば、本当に色々なことができる**」ことを実感しました(下段参照)。

そして、「**子供達のために**」という想いのお父さんが数多くいることも、身をもって知ることができました。

次男の卒園に伴い、私もチームパパからは卒業となりますが、「**地域でつながった“お父さんとしての縁”**」を、これからも大切に、「**子供達に何ができるか**」を考えていきたいと思っています。

*なお、この「海苔づくりイベント」は、チームパパメンバーの尽力で、「日本一ネット(日本初、日本唯一の、各分野の日本一記録だけをデータ化するサイト)」に「手づくり海苔で巻いたおにぎりの数日本一(700個)」として登録されました。

<参考>

これまでのチームパパでの主な活動

うどん作り	花火大会&スイカ割り
ラーメン作り	凧づくり&凧あげ
ソーセージ作り	マグロ解体ショー
ナン作り	流しソーメン
ピザ作り	ニジマスつかみ取り



流しソーメン



ニジマスつかみ取り

節分祭

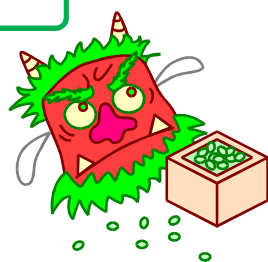
2月2日(日)、富士見丘駅前商店街通りにて「第10回富士見丘節分祭」が行われました。

豆まきや防犯パレード等とともに、今年も子供達によるダンスの演舞がありました。

当日は、テント設営・撤去等のお手伝い、及び、**昨年に引き続き、子供達によるダンス演舞の司会進行を務め**させていただきました。

子供達の一生懸命かつ元気な姿は、見ている者に笑顔をもたらします。

指導をされている方々に敬意を表するとともに、**子供達が自己実現できる場を作るお手伝いは、今後でもできるだけ関わっていききたい**と思います。



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第42号(平成26年春号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX: 03-3247-8660 E-Mail: ikuma@gakushikai.jp
HP: http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。平成23年5月より3期目。
趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族: 妻、長男(11歳)、長女(8歳)、次男(6歳)。

区長再選を当然視?

平成26年度予算に現れた“田中区長の驕り”

平成26年度杉並区一般会計予算が、3月18日の区議会において、賛成多数で可決されました。しかしながら、6月に区長選挙を控えた年度の当初予算としては、問題があると考え、**私は反対**しました。

問題: 新区長の政策裁量の余地(区長選公約の実施財源)が乏しい

現区長の平成26年度における任期は、約3か月だけです。

杉並区では、少なくとも平成以降、区長選を控えた年の当初予算は、選挙を通じた民意を区政に適切に反映させるため(新区長の選挙公約を実施するため)、「**準骨格予算(補正予算のための財源を多めに残した予算)**」としています(右表参照)。これは、その時の区長が再出馬する場合でも同様です。

しかしながら、今回の予算では、補正予算のための財源は、区長選挙のない年とほぼ変

わりません。さらには、**平成以降の過去3人の歴代区長(松田区長・本橋区長・山田区長)全員が、区長選を控えた年の予算編成方針において「準骨格(的)予算」と述べている**にもかかわらず、田中区長は我が会派の質問に対し、下記のように議会で答弁しています。

【田中区長の議会答弁】

- 「骨格予算や準骨格予算、まあ、何のことをいうかよくわかりませんが」
- 「改選前は骨格予算であるべき、というのは、子供の議論とまでは申し上げませんが、ひとつの見識とは思いますが。しかし、いささか、現実には乏しい、バランスを欠いた、柔軟性を欠落した、極端に硬直した理屈だと私には思えてなりません。」

最近の、任期満了に伴う区長選(*1)を控えた年の当初予算における財源保留額(*2)

	財源保留額	前年度比
平成11年	23億6,500万円	15億1,700万円増
平成15年	20億8,300万円	12億500万円増
平成19年	20億1,100万円	11億3,200万円増
今回	8億2,400万円	2,800万円増

(*1)前回の区長選(平成22年7月)は、任期途中での辞職に伴うものであるため、対象外

(*2)財源保留額…年度途中で組む補正予算のための財源額



次回の定例区議会(平成26年第2回定例会)は、5月27日(火)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX: 03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

準骨格予算としなかったこと自体が問題ですが、加えて、上記の区長発言は、歴代区長のみならず、その予算編成に従事してきた職員、議決をしてきた議会、また何よりも、歴代区長及び議員を選んできた区民の皆様に対して、**はなはだ失礼な発言**です。区長のトップとしての資質を疑わざるをえず、非常に残念に思います。

議会での活動

3月3日～3月17日、予算特別委員会が開催されました。
(3月4日、6日、10日、13日に質問者として登壇。17日には、会派を代表して平成26年度各会計予算及び関連議案に対する意見開陳を行いました。)
以下、その一部を取り上げます。
* 予算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画中継(下記)でご覧いただけます。

http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/vod_iinkai/vod_iinkaitop.htm

【質問でとりあげたテーマ】

4日	行政財産使用料条例等の一部を改正する条例(下参照)
	施設再編整備計画における財政収支の傾向分析
6日	学校防災倉庫と災害備蓄倉庫(右参照)
	住民基本台帳カードの利用に関する条例 生分解性素材を使用した印鑑登録証兼住民票・税証明カード
10日	施設再編整備計画における財政効果(右下参照)
	女性の健康週間
13日	ブックシャワー(*) 都市計画高井戸公園 義務教育保護者負担経費の軽減(小学校教材費)

(*)ブックシャワー・・・紫外線を使って書籍を殺菌消毒し、本に風をあてて、はさまったゴミやにおいを取る機械

【行政財産使用料条例等の一部を改正する条例】

区政報告第40号でとりあげたとおり、集会施設等の使用料は平成9年から変わっておらず、受益者負担の適正化を図ることは必要です。

また、**昨秋の決算特別委員会で行った提言は、下記の通り反映**されました。

岩田の提言		区の対応
極端な負担増とならないよう、激変緩和措置を導入すること		3年間の激変緩和措置を導入
利用者の利便性向上のため、時間区分の見直しを行うこと		①学校開放施設の利用を、3時間 ⇒ 1時間単位へ変更 ②集会施設の午後利用を、4時間 ⇒ 2時間単位へ変更

なお、使用料算定の元となる原価計算を定期的(概ね3年ごと)に行う、とのことであるため、「原価計算の結果と実際の使用料にどの程度かい離があれば使用料を見直すのか等、**見直し基準をわかりやすくルール化すること**」を**今後の課題として提起**しました。



【学校防災倉庫と災害備蓄倉庫】

杉並区では、震災時には区立小中学校等に震災救援所(震災時の避難・救援の拠点)を開設するため、各学校に防災倉庫があります。
また、学校防災倉庫に入りきらない災害備蓄品は、災害備蓄倉庫(区内に28か所)に所蔵しています。
しかしながら、
①災害備蓄倉庫まで往復30分を要する学校(震災救援所)がある
②備蓄食料(クラッカー等)を、往復1km以上離れた災害備蓄倉庫へ取りに行かねばならない学校(震災救援所)があることから、**学校防災倉庫の充実や、災害備蓄倉庫の配置見直し**を提言しました。

【施設再編整備計画における財政効果】

1月～2月に行われた区民意見提出手続きを経て、予算特別委員会に「区立施設再編整備計画(案)」が示されました。しかしながら、そこでの「財政効果」の算出方法を問うたところ、納得しがたい答弁であったため、財政効果の精査及び計算方法の記載を求めました。
その結果、**財政効果についてかなり見直しが行われ、また、資料として「財政効果の計算方法」が示されました。**



売却方針が決まっていない土地の売却益を「財政効果」に見込む等、その内容には疑問も残りますが、区民の皆様が考えるうえでの材料が一定程度示されたことは、前進と考えます。

調査活動

在宅医療推進フォーラム

1月18日(土)、平成25年度在宅医療推進フォーラム「**在宅での看取りを考える**」に参加しました
(主催:杉並区医師会・歯科医師会・薬剤師会及び杉並区)。



	内容
第1部:基調講演	安心して自宅で死ぬための5つの準備
第2部:シンポジウム	在宅での看取り経験を通して

第2部は、**実際に在宅で看取りを体験した区民の方と、その看取りを支えた医師及び看護師の方が発表者**でしたので、吸い込まれるようにお話に聞き入りました。



人生の終末期をどのように過ごすかは、本人及び家族にとって、切実な問題です。そして、天寿が伸びた現在においては、**高齢者医療の目的は「治す」ことだけではなく、「支える」要素が高まってきます**。誰もが「生活の質」を可能な限り維持しながら生を全うするために、どのような環境整備が必要なのか、今後も考え、取組んでいきたいと思います。

災害対策特別委員会視察

12月19日(木)、災害対策特別委員会として、
(1)西高野ソーラーシェアリング発電所
(2)独立行政法人 防災科学技術研究所
を視察しました。

なお、**ソーラーシェアリングとは、**

農地の上に、藤棚のような高い架台を設置し、隙間をあけて小型ソーラーパネルを並べることにより、**発電と農業を両立させる方法**です(写真参照)。



自然エネルギーの活用に向け、様々な取組が行われております。東京に適した方法は何か、考えていきたいと思ひます。

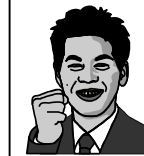
次世代育成基金活用事業成果報告会

1月25日(土)、平成25年度「杉並区次世代育成基金」活用事業成果報告会に参加しました。

報告された事業

交流自治体中学生親善野球大会(於:台湾)	
中学生小笠原自然体験交流	
中学生海外留学(オーストラリア)	

学習発表の内容は、発表時間の関係もあり苦笑いせざるを得ないところもありましたが、派遣生徒を代表して「お礼の言葉」を述べた中学生が、原稿を全く見ずに話したのが印象的でした。



参加できた生徒にとっては、非常に有意義な事業だと思います。しかしながら、**上記3事業の参加生徒数は77名であり、公費負担額は2,700万円強**にのぼります(他に、基金から800万円強を活用)(*)。一方で、自己負担はほとんどありません。こうした形で特定の生徒に公費を集中的に使うのであれば、**事業や参加生徒の選抜方法は常に見直していく必要がある**ように思います。
(*)参加生徒数及び金額は、いずれも予算段階。

新・大宮前体育館落成式

3月24日(月)、新・大宮前体育館の落成式が行われました。

主な施設		一般使用料金は、
体育館棟	プール棟	
大体育室	プール	● プール:1時間につき250円 (子供は130円)
小体育室	キッズプール	
武道場	ジャグジー	● トレーニング室:1回400円です。
トレーニング室	キッズルーム	
屋上広場	多目的室	



住宅街の施設ということで、地上に出る部分を低く抑えているため、採光面で残念なところはありますが、せっかくの新しい運動施設ですので、皆様ぜひご利用いただければと思います。